【公報種別】特許法第１７条の２の規定による補正の掲載
【部門区分】第６部門第３区分
【発行日】平成30年8月9日(2018.8.9)

【公表番号】特表2017-522679(P2017-522679A)
【公表日】平成29年8月10日(2017.8.10)
【年通号数】公開・登録公報2017-030
【出願番号】特願2017-522720(P2017-522720)
【国際特許分類】
Ｇ０８Ｇ　1/127　(2006.01)
【ＦＩ】
Ｇ０８Ｇ　1/127　B

【手続補正書】
【提出日】平成30年6月26日(2018.6.26)
【手続補正１】
【補正対象書類名】特許請求の範囲
【補正対象項目名】全文
【補正方法】変更
【補正の内容】
【特許請求の範囲】
【請求項１】
停留所で乗車する乗客に対する公共輸送車両の収容能力を予測し、（ｉ）この収容能力を示す情報を前記停留所の少なくとも１つの据置型表示装置に表示することと、（ｉｉ）この収容能力を示すデータを少なくとも１つの遠隔コンピュータ装置に伝送可能にすることとのうちの少なくとも１つのための方法であって、
前記方法は、２つの自動のプロセスである、予測プロセスとデータ入手プロセスとを含み、
前記予測プロセスが、
前記停留所より前での前記公共輸送車両の混雑レベルと、前記測定された混雑レベルを前記停留所で前記公共輸送車両から降車すると予想される乗客の人数の記憶された指標と組み合わせることとによって、前記停留所で乗車する乗客に対する前記公共輸送車両の前記収容能力を予測することと、
（ｉ）前記停留所で乗車する乗客に対する前記公共輸送車両の前記予測収容能力を示す前記情報を前記停留所の前記少なくとも１つの据置型表示装置に表示することと、（ｉｉ）この収容能力を示すデータを前記少なくとも１つの遠隔コンピュータ装置に伝送可能にすることとのうちの少なくとも１つと
を含み、
前記公共輸送車両が前記停留所に接近しているときに前記停留所より前での前記公共輸送車両の混雑レベルを測定すること、すなわち、混雑レベルの測定値は、前記停留所で乗車する乗客に対する前記公共輸送車両の前記予測された収容能力を示す情報を表示するため、及び／又はこの収容能力を示すデータの伝送をもたらすために、前記公共輸送車両の同じ走行に言及し、
前記停留所で前記公共輸送車両から降車すると予想される乗客の前記人数の前記記憶された指標が、前記データ入手プロセスの少なくとも１つの事前実行の結果であり、そして、
前記データ入手プロセスが、
前記車両が前記停留所にいるとき、前記停留所で前記公共輸送車両から降車した乗客の人数を決定することと、
将来使用される、前記停留所で前記公共輸送車両から降車すると予想される乗客の前記

人数の前記記憶された指標を更新することと
を含む、方法。
【請求項２】
前記公共輸送車両が乗客スペースを有し、前記公共輸送車両の前記混雑レベルを測定することが、乗客の存在を感知する少なくとも１つの測定装置で前記乗客スペースをスキャンすることを含む、
請求項１に記載の方法。
【請求項３】
前記停留所で乗車する乗客に対する前記公共輸送車両の前記収容能力が、
（ｉ）前記停留所での最小混雑レベルを測定し、前記最小混雑レベルを前記公共輸送車両の最大収容能力から減算することと、
（ｉｉ）記憶された測定された最小混雑レベルから得られる予想最小混雑レベルを前記公共輸送車両の前記最大収容能力から減算することと
のうちの少なくとも１つによって、決定される、
請求項１又は２に記載の方法。
【請求項４】
乗車する乗客に対する前記公共輸送車両の前記収容能力が、降車すると予想される乗客の前記人数を前記測定された混雑レベルから減算することによって決定される、
請求項１又は２に記載の方法。
【請求項５】
（ｉ）前記予測プロセス及び（ｉｉ）前記データ入手プロセスのうちの少なくとも１つが、少なくとも１つの収容能力予想修正パラメータを使用することによって、気象状況、交通関連イベント、及び祝日のうちの少なくとも１つを考慮するように適合される、
請求項１～４のいずれか一項に記載の方法。
【請求項６】
前記予測プロセスが、前記停留所で乗車する乗客に対する前の公共輸送車両の所定数のそれぞれの前記収容能力を考慮するように適合される、
請求項１～５のいずれか一項に記載の方法。
【請求項７】
前記公共輸送車両が複数の区画に細分化され、前記公共輸送車両の前記混雑レベルが、前記公共輸送車両の前記区画に対する混雑レベルを備える、
請求項１～６のいずれか一項に記載の方法。
【請求項８】
前記公共輸送車両が荷物スペースを有し、前記公共輸送車両の前記混雑レベルを測定することが、荷物の存在を感知する少なくとも１つの測定装置で前記荷物スペースをスキャンすることを含み、
前記予測プロセス及び前記データ入手プロセスが、前記荷物スペースに格納できる荷物の量を予測して、表示するために実行される、
請求項１～７のいずれか一項に記載の方法。
【請求項９】
前記停留所より前での（ｉ）乗客及び（ｉｉ）荷物のうちの少なくとも１つを有する前記公共輸送車両のスキャンの結果が（ｉ）乗客及び（ｉｉ）荷物のうちの少なくとも１つがないスキャンの結果によって修正されるバックグラウンド減算法によって、前記混雑レベルが測定される、
請求項８に記載の方法。
【請求項１０】
前記公共輸送車両の（ｉ）前記乗客スペース及び（ｉｉ）荷物スペースのうちの少なくとも１つが、
（ｉ）（ｉ）乗客及び（ｉｉ）荷物のうちの少なくとも１つがない状況での前記公共輸送車両の前記スキャンの間、前記少なくとも１つの測定装置によって検出可能である前記公

共輸送車両の物理的マーカと、
（ｉｉ）（ｉ）乗客及び（ｉｉ）荷物のうちの少なくとも１つがない状況での前記公共輸送車両の前記スキャンを後編集することと
のうちの少なくとも１つによって定義される、
請求項９に記載の方法。
【請求項１１】
複数の測定装置に（ｉ）赤外線ポイントクラウド及び（ｉｉ）構造化赤外線パターンのうちの少なくとも１つを作成する少なくとも１つの赤外線エミッタが装備され、
前記測定装置に（ｉ）赤外線ポイントクラウド及び（ｉｉ）構造化赤外線パターンのうちの少なくとも１つを受ける少なくとも１つの赤外線検出器も装備され、
前記（ｉ）赤外線ポイントクラウド及び（ｉｉ）構造化赤外線パターンのうちの少なくとも１つが（ｉ）前記公共輸送車両の乗客スペースのさまざまな区画及び（ｉｉ）荷物スペースのうちの少なくとも１つの３Ｄデプスマップを作成するために使用され、それが前記公共輸送車両の３Ｄデプスマップに一緒に縫合される、
請求項７～１０のいずれか一項に記載の方法。
【請求項１２】
停留所で乗車する乗客に対する公共輸送車両の収容能力を予測することのため、ならびに、（ｉ）この収容能力を示す情報を前記停留所の少なくとも１つの据置型表示装置に表示すること及び（ｉｉ）前記停留所で乗車する乗客に対する前記公共輸送車両の前記収容能力を示すデータを少なくとも１つの遠隔コンピュータ装置に伝送可能にすることのうちの少なくとも１つのための、コンピュータ化システムであって、
前記コンピュータ化システムは、少なくとも１つのプロセッサと少なくとも１つのメモリとを備え、前記少なくとも１つのメモリが、前記プロセッサによって実行されるとき、前記少なくとも１つのプロセッサに、２つの自動プロセスである、予測プロセスとデータ入手プロセスとを実行させる実行可能命令を備え、
前記予測プロセスが、
前記停留所より前での前記公共輸送車両の混雑レベルと、前記測定された混雑レベルを前記停留所で前記公共輸送車両から降車すると予想される乗客の人数の記憶された指標と組み合わせることとによって、前記停留所で乗車する乗客に対する前記公共輸送車両の前記収容能力を予測することと、
（ｉ）前記停留所で乗車する乗客に対する前記公共輸送車両の前記予測収容能力を示す前記情報を前記停留所の前記少なくとも１つの据置型表示装置に表示することと、（ｉｉ）この収容能力を示すデータを前記少なくとも１つの遠隔コンピュータ装置に伝送可能にすることとのうちの少なくとも１つと
を含み、
前記公共輸送車両が前記停留所に接近しているときに前記停留所より前での前記公共輸送車両の混雑レベルを測定すること、すなわち、混雑レベルの測定値は、前記停留所で乗車する乗客に対する前記公共輸送車両の前記予測された収容能力を示す情報を表示するため、及び／又はこの収容能力を示すデータの伝送をもたらすために、前記公共輸送車両の同じ走行に言及し、
前記停留所で前記公共輸送車両から降車すると予想される乗客の前記人数の前記記憶された指標が、前記データ入手プロセスの少なくとも１つの事前実行の結果であり、そして、
前記データ入手プロセスが、
前記車両が前記停留所にいるとき、前記停留所で前記公共輸送車両から降車した乗客の前記人数を決定することと、
将来使用される、前記停留所で前記公共輸送車両から降車すると予想される乗客の前記人数の前記記憶された指標を更新することと
を含む、コンピュータ化システム。
【請求項１３】

請求項１～１１のいずれか一項に記載の方法を実行するように配置される、
請求項１２に記載のコンピュータ化システム。